

ごのへ 議会 会だより

Gonoh Assembly News

議会広報
平成30年4月
第27号

第20回定例会(平成30年3月定例会)

平成30年度当初予算 ……	2	予算特別委員会 ……	4	第19回臨時会 ……	7
第20回定例会 ……	7	一般質問(4人) ……	10	編集後記 ……	14



田植え前の水路整備作業の様子

すべての田んぼに水がいくように用水堰にたまった泥や枯草をかき出す作業で、力仕事のため、高齢化が進む農家にとっては悩みの種の一つ……。

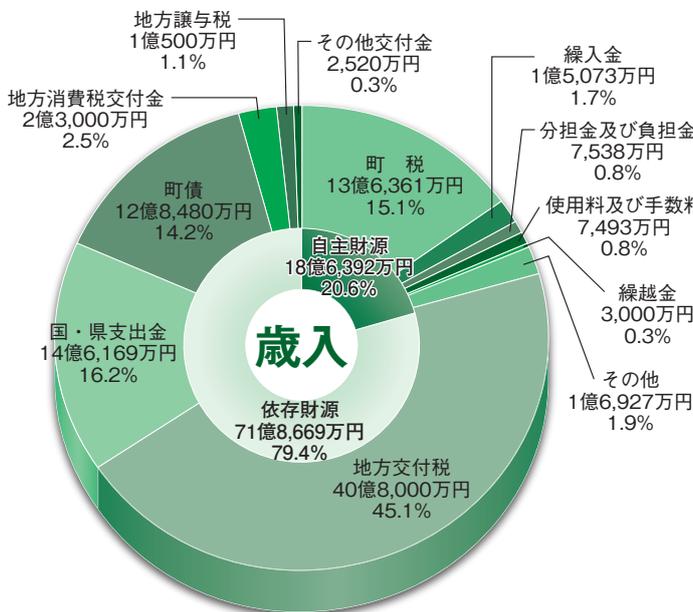
平成30年度当初予算を可決

< 財 源 構 成 >

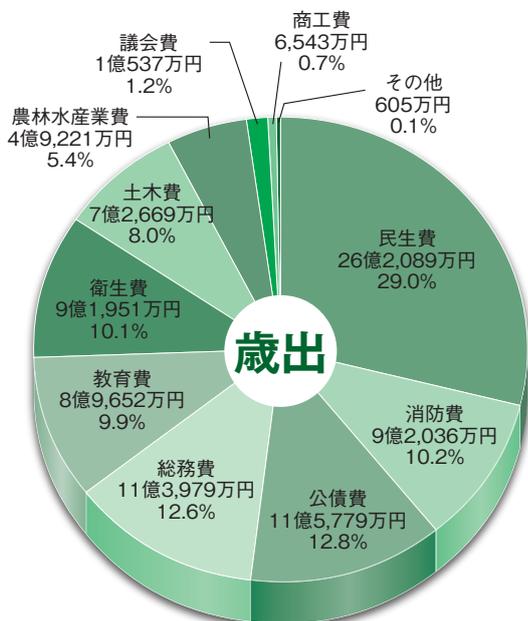
自主財源 20.6%	依存財源 79.4%
----------------------	--------------------------

一般会計 90億5,061万円 前年度比△6.3% 6億1,075万円 減額

【一般会計】



前年度比			
歳 入 (単位：万円、%)			
区 分	予算額	増減額	増減率
町税	13億6,361	4,212	3.2
繰入金	1億5,073	△2億7,819	△64.9
分担金及び負担金	7,538	△316	△4.0
使用料及び手数料	7,493	784	11.7
繰越金	3,000	0	0.0
その他	1億6,927	2,621	18.3
小計(自主財源)	18億6,392	△2億518	△9.9
地方交付税	40億8,000	△4,500	△1.1
国・県支出金	14億6,169	1億2,713	9.5
町債	12億8,480	△47,170	△26.9
地方消費税交付金	2億3,000	△2,000	△8.0
地方譲与税	1億500	0	0.0
その他交付金	2,520	400	18.9
小計(依存財源)	71億8,669	△4億557	△5.3
合 計	90億5,061	△6億1,075	△6.3



歳 出 (単位：万円、%)			
区 分	予算額	増減額	増減率
民生費	26億2,089	1億1,461	4.6
消防費	9億2,036	△3億5,134	△27.6
公債費	11億5,779	△4,136	△3.4
総務費	11億3,979	△5,249	△4.4
教育費	8億9,652	△1億712	△10.7
衛生費	9億1,951	△3,974	△4.1
土木費	7億2,669	△1億8,362	△20.2
農林水産業費	4億9,221	6,228	14.5
議会費	1億537	△757	△6.7
商工費	6,543	△436	△6.2
その他	605	△4	△0.6
合 計	90億5,061	△6億1,075	△6.3

【特別会計】

区 分	予 算 額	前 年 度 比	
		増 減 額	増減率
後期高齢者医療特別会計	4億4,029万円	183万円	0.4%
国民健康保険特別会計	22億9,085万円	△3億7,478万円	△14.1%
介護保険特別会計	23億5,004万円	5,414万円	2.4%
下水道事業特別会計	4億625万円	△1,273万円	△3.0%
農業集落排水処理施設事業特別会計	1億1,776万円	298万円	2.6%
簡易水道事業特別会計	9,377万円	△878万円	△8.6%
住宅用地造成事業等特別会計	387万円	0円	0.0%
ケーブルテレビ事業特別会計	2,763万円	△3,408万円	△11.0%

【病院事業会計】

区 分	予 算 額	前 年 度 比	
		増 減 額	増減率
収益的収入	26億180万円	△1億5,897万円	△5.8%
収益的支出	28億4,254万円	△1億2,871万円	△4.3%
資本的収入	3億3,861万円	△1億992万円	△24.5%
資本的支出	5億2,963万円	△1億4,362万円	△21.3%

主 な 新 規 事 業

総務費			
● 自治会施設整備費補助金	500万円	● まちの駅実施設計業務委託料	1,300万円
● 庁舎直流電源装置交換工事費	1,456万円	● 町総合振興計画後期基本計画策定業務委託料	367万円
民生費			
● 五戸町保育所等整備交付金	6,961万円	● 五戸町認定こども園施設整備交付金	3,851万円
農林水産業費		消防費	
● 林地台帳管理システム構築業務委託料	462万円	● Jアラート・防災行政無線備品購入	568万円
土木費			
● 陸上競技場キュービクル交換工事費	1,214万円	● サンハウス屋根改修工事費 (設計業務委託料含)	644万円
教育費			
● ごのへ郷土館指定管理料	728万円	● ごのへ郷土館看板工事費	150万円
● スポーツ交流センター防災設備交換工事費	532万円	● 文科教育系施設長寿命化計画策定業務委託(管内小・中学校分)	505万円
下水道事業特別会計			
● 監視通報装置交換修繕工事費	189万円		

平成30年度当初予算を審議

予算特別委員会(委員長：大沢 博議員、副委員長：大沢 義之議員)を設置し、平成30年度の一般会計予算、特別会計予算及び病院事業会計予算について審議しました。

※委員会では議員のことを「委員」と呼びます。



おお ざわ ひろし 大 沢 博 委員長

主な質疑

一般会計歳入

ふるさと納税寄附金制度の内容は

問 豊田孝夫委員

納税者は寄附金の使い道を選択することができ
るのか。

答 沢向地方創生推進室長

まち・ひと・しごと創
生総合戦略にある4項目
から選択できる。

交付金・補助金の
内容は

問 高山浩司委員

公営住宅等ストック総
合改善事業交付金とは。

答 赤坂建設課長

公営住宅長寿命化計画
の策定業務に対する補助
金。

問 高山浩司委員

被災生徒就学援助費補
助金とは。

答 佐々木教育課長

被災地である福島県か
ら移住してきた生徒に対
する補助金。

一般会計歳出

【総務費】

町総合振興計画後期
基本計画策定業務とは

問 尾形裕之委員

業務委託内容は。

答 小村企画振興課長

平成27年度からの10年
計画で、後期の平成32年
度からの策定に町民の意
見を反映させるためのア
ンケート調査に係る業務
委託料。

公用車購入と車借上料

問 豊田孝夫委員

公用車購入費と借上料
の内容は。

答 佐々木総務課長

青森出張用の公用車が
総距離20万キロを超えて
おり現在と同等ぐらいの
車購入代。

問 沢向地方創生推進室長

地域おこし協力隊が使
用するための3台分の借
上料。

五戸町省エネルギー型
防犯灯設置補助金の
内容は

問 川崎七洋委員

前年度予算からの増減
と費用対効果は。

答 佐々木総務課長

補助金の額は前年と同
じ。自治会の防犯灯の電
気料については三分の一
から半分に省エネでき
ている。

まち・ひと・しごと
創生総合戦略事業

問 川崎七洋委員

施策21住民協議会の設
置に関しての予算と協議
内容は。

答 沢向地方創生推進室長

地方創生総合戦略費の

報償費と費用弁償に含ま
れており、内容は「住民
協議会(案)」を協議する。

まちの駅実施設
業務委託料とは

問 川崎七洋委員

この予算を承認するこ
とによって建設が確定す
るのか。

答 大久保副町長

議員や皆様と協議し実
施して行きたいと思っ
ているので、この予算計上
だけで確定するものでは
ない。

問 川村浩昭委員

この委託料は、子育て
支援センターも含めた額
か。

答 大久保副町長

県の設計積算基準によ
り面積と構造だけで計算
したもの。事業内容は含
まれてはいない。

地域資源活用商品開発
事業補助金とは

問 尾形裕之委員

補助金の内容は。

答 沢向地方創生推進室長

三大美肉を商品化する
ためブランドフード協議
会へ補助するもの。商品
の小鉢や鉄板等の食器購
入と広告料にあてられる。

問 鈴木隆也委員

補助金で食器を揃える
必要性は何か。

答 沢向地方創生推進室長

食器の購入はメニュー
として統一性を持たせる
ため購入するもの。

答 三浦町長

予算は計上したが執行
の段階では十分慎重に妥
当なものかどうか協議し
ていきたいと思う。

地消地産条例

問 尾形裕之委員

条例制定の予算化は。

答 小村企画振興課長

地消地産の町民へのP
R活動は広報費を増額し
計上している。



まちの駅建設予定地
図書館南側芝生広場

**観光地域づくり強化
アドバイザー業務
委託料とは**

問 高山浩司委員

業務委託料の内容は。
また事業効果は。

答 沢向地方創生推進室長

今年度に引き続き山田桂一郎先生に人材育成を目的として委託するもの。住民に対する意識づけで効果を数値化するのには難しい。

**移住受入地域協議会活動
支援事業補助金とは**

問 高山浩司委員

補助金の内容は。

答 沢向地方創生推進室長

各企業や不動産屋、移住者で協議会を設け、移住者の受け入れを進めるための補助金。協議会の人数は未定。

**情報対策費の交付金の
内容とは**

問 高山浩司委員

J・I・L・S事務委託
交付金とは。

答 小村企画振興課長

マイナンバーに伴う中間サーバープラットフォーム利用にかかる交付金。

**桜沼公園に係る予算の
内容とは**

問 鈴木隆也委員

公園浄化槽維持管理業務委託料、施設清掃業務委託料、簡易水道加入負担金の内容は。

答 畑山農林課長

桜沼保全会から活動困難で解散するとの報告があった。管理団体が無くなり町で管理するための費用を予算計上したものと。



桜沼公園

選挙啓発費の内容は

問 豊田孝夫委員

投票率向上につながる啓発費は妥当か。

答 佐々木総務課長

新年度選挙がないため例年と同額で予算計上した。

**生活路線バス運行
維持費補助金**

問 三浦俊哉委員

補助金額が年々減額している理由は何か。

答 小村企画振興課長

岩手県北バスが経営効率が高めているため、補助金が減額になっている。

【民生費】

**子ども子育て支援二
次調査業務委託料とは**

問 鈴木隆也委員

業務委託内容は。委託料として妥当な金額か。

答 服部福祉保健課長

児童福祉の保育計画の見直しに伴い調査委託するもの。業者からの見積りを参考にした金額。

**障がいをもつ児童
受入れの予算化**

問 鈴木隆也委員

障がいをもつ児童の放課後保育受け入れのための費用は計上されているか。

答 服部福祉保健課長

予算計上していないが、町内保育園に受け入れをお願いしている。先進地視察は補正等検討したい。

【衛生費】

**自殺対策計画策定支援
業務委託料とは**

問 三浦俊哉委員

業務委託内容は。

答 服部福祉保健課長

全国的に計画策定を進めている事業で対策等内容を委託するもの。

**情報照会・情報提供
オプション利用料とは**

問 高山浩司委員

利用の内容は。

答 服部福祉保健課長

郡内で乳幼児の転入、転出の際、健診や予防接種の情報を共有するための利用料。

【農林水産業費】

**りんご剪定土養成事業
委託料の内容は**

問 豊田孝夫委員

委託先と事業実績は。

答 畑山農林課長

県でおこなっている事業で研修希望があれば対応するための委託料。町内では剪定士はいない。



剪定の様子

立竹等移転補償費とは

問 豊田孝夫委員

補償地区は。

答 畑山農林課長

園芸試験場線の農道の改修工事にかかる移転補償。県営事業で町の負担金がない県代行事業制度。

**五戸町地域担い手育成
総合支援事業は**

問 尾形裕之委員

後援内容と予算計上は。

答 畑山農林課長

五戸町地域担い手育成総合支援協議会があり、県から補助金を受け活動していた。町予算は無い。

答 沢向地方創生推進室長

映画上映の際の公民館使用の申請に関しては町長から許可を得て減免申請している。

**五戸まつり事業補助金
の内容は**

問 川村浩昭委員

運行のための予算か。

答 小村企画振興課長

五戸まつりの運営全体にかかる不足分を町が補助している。

【土木費】

町道用地購入費とは

問 川村浩昭委員

内容は。

答 赤坂建設課長

現在、用地買収は無償であるが、今後補償して購入にあたる体制をとるため計上したものと。

【消防費】

Jアラート・防災行政無線購入費とは

問 鈴木隆也委員

購入費の内容は。

答 佐々木総務課長

国で受信機を新型に変えるよう指導があり購入するもの。

ポンプ自動車購入費とは

問 川村浩昭委員

購入費の内容は。

答 佐々木総務課長

第15分団北市川に購入予定。



初午での消防車両

消防屯所修繕工事とは

問 三浦俊哉委員

工事内容は。

答 佐々木総務課長

第9分団の屯所の雨漏れしている外壁の工事をするもの。

【教育費】

いじめ防止対策審議会の内容は

問 鈴木隆也委員

構成委員と報酬額は。

答 佐々木教育課長

委員数は6名。委員はまだ指名していない。会長は5千700円、委員は5千300円の三回開催分の報酬額。

管内小・中学校施設改修工事費の内容は

問 鈴木隆也委員

工事内訳は。

答 佐々木教育課長

小学校費は、五戸小学校プール水質管理装置更新工事、上市川小学校校舎前舗装工事、倉石小学校校門照明交換工事及び防災設備改修工事。中学校費は、五戸中学校高圧機器更新工事、川内中学

校グラウンド改修工事及び建具改修工事。

重要性、緊急性等検討して予算計上した。

八戸圏域高等学校地域活動促進事業費負担金の内容は

問 沢田良一委員

五戸高校も含まれているのか。

答 佐々木教育課長

含まれている。

公民館大ホール舞台設備関係及び冷凍機器保守とは

問 川村浩昭委員

委託内容は。適した業者か。

答 佐々木教育課長

町内の電気商業組合に舞台照明等委託しているもので委託業者の接遇については注意する。冷凍機器は、館内冷暖房機器保守のこと。

このへ郷土館看板工事費の内容は

問 三浦專治郎委員

設置場所は。

答 佐々木教育課長

バイパス沿いのコミセン付近に一つ、学校に向かって右側に一つ、学校正面校章上に一つ設置予定。



このへ郷土館正面

このへ郷土館関係謝金とは

問 尾形裕之委員

開館式典出演謝金と愛称命名者等謝金の内容は。

答 佐々木教育課長

式典のアトラクションとして1団体3千円、20名分の目安で計上、愛称を募集したが検討委員会

で保留としている。

このへ郷土館指定管理料とは

問 川村浩昭委員

指定管理者は決まっているのか。

答 佐々木教育課長

運営管理や受付業務を委託する。豊間内地区の方による「このへ郷土館管理運営委員会」に決まっている。

江渡狄嶺関係資料搬入委託料

問 豊田孝夫委員

昨年度も予算計上していたが内容は。

答 佐々木教育課長

昨年度の不足分を運搬するため予算計上したものの。

国民健康保険特別会計

問 三浦專治郎委員

国保税率の改定の際の説明と収入額が違うがなぜか。

答 酒井住民課長

予算要求書作成の時点での額で予算書は査定後の額である。不足が生じた場合は補正対応する。

住宅用地造成事業会計

問 松山泰治委員

何区画残っているのか。

答 赤坂建設課長

7区画残っている。

答 三浦町長

財的な問題もあり慎重に検討していく。

路	13,000円/㎡(約43,000円/坪)
道	12,800円/㎡(約42,300円/坪)
歩道	12,500円/㎡(約41,300円/坪)
公園・植栽地等	12,200円/㎡(約40,300円/坪)
地	12,000円/㎡(約39,700円/坪)
宅	

※各区画の売買状況については、分譲価格表をご覧ください。



第19回 平成30年2月 臨時会

2月7日に1日間の会期で臨時会が開催されました。

議決件数 1件			
原案可決	同意	承認	認定
1件	0件	0件	0件

町長提出案件

専決処分報告 2件

● 道路上の舗装劣化による車両物損事故に関する和解及び損害賠償額の決定
損害賠償額 8千円

町道中市小渡線

● 町営住宅ひばり野団地集会所建設工事
設計内容の契約一部変更

変更前

7002万7千2百円

変更後

6868万8千円

* 報告は採決しません。

条例の一部改正 1件

● 五戸町病院事業の設置等に関する条例の一部改正

・ 入院室料の一部減額及び全ての土曜日を休診とするもの

審議の結果

全員賛成で可決

第20回 平成30年3月 定例会

3月8日から16日までの9日間の会期で定例会が開催されました。

議決件数 39件			
原案可決	同意	承認	認定
38件	1件	0件	0件

町長提出案件

協議 1件

● 青森県新産業都市建設事業団に委託すべき事業に関する計画の一部変更

審議の結果

全員賛成で可決

認定の廃止 1件

● 町道の路線の廃止について

【内容】

・ 県営五戸東地区中山間地域総合整備事業により農業振興と地域住民の利便を図るため

審議の結果

全員賛成で可決

指定管理者の指定 1件

● 指定管理者の指定について

【内容】
・ このへ郷土館の運営管理団体の指定

条例の制定 3件

● 五戸町職員の修学部分休業に関する条例

【内容】

・ 職員の公務に関する能力向上を目的としたもの

● 五戸町職員の高齢者部分休業に関する条例

【内容】

・ 加齢による健康上の理由などで勤務形態の多様化を整備するため

● 五戸町職員の配偶者同行休業に関する条例

【内容】

・ 育児や介護等と仕事との両立支援の制度

審議の結果

全員賛成で可決

条例の一部改正 13件

● 五戸町課設置条例及び五戸町子ども・子育て会議条例の一部を改正

【内容】

・ 行政組織変更による改正

● 五戸町職員の給与に関する条例の一部を改正

【内容】

・ 職等級に伴う改正

● 特別災害による被害者に対する町税減免の特例措置に関する条例の一部を改正

【内容】

・ 農業災害補償法の一部改正に伴う改正

● 五戸町承認企業立地計画に従って設置される施設に係る固定資産税の特例措置に関する条例の一部を改正

【内容】

・ 法律の改正に伴う改正

● 五戸町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正

【内容】

・ 法律の改正に伴う改正

【内容】

・ 法律の改正に伴う改正

●五戸町国民健康保険条例及び五戸町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正

追加するもの

【内容】

・国民健康保険法施行令の一部改正による改正

●五戸町国民健康保険税条例の一部を改正

【内容】

・地方税法等の改正に伴う改正

●五戸町介護保険条例の一部を改正

【内容】

・保険料等の改正に伴う改正

●五戸町介護保険法に基づく指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例の一部を改正

【内容】

・条例の一部改正に伴い共生型地域密着型通所介護の規定等について

【内容】

追加するもの

●五戸町介護保険法に基づく指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部を改正

【内容】

・条例の一部改正に伴い、介護医療院、身体的拘束等の適正化等の措置について追加するもの



【内容】

・土地改良法の一部改正に伴う引用条項の改正

●五戸町道路占用料徴収条例の一部を改正

【内容】

・道路法施行令の道路占用料が改定されたことによる改正

●五戸町営住宅条例の一部を改正

【内容】

・公営住宅法の一部改正に伴う改正

審議の結果
全員賛成で可決

平成29年度補正予算 9件

●一般会計補正予算(第5号)

・補正額(減額)
△1億1017万1千円

・予算総額(補正後)
94億8044万2千円

【主な内容】
・国・県の補助金の確定等

●後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)

・補正額(増額)
504万5千円

・予算総額(補正後)
4億4532万6千円

【主な内容】
・一般会計繰出金等

●国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

・補正額(減額)
△5748万2千円

・予算総額(補正後)
26億8087万7千円

【主な内容】
・保険財政共同安定化事業等

●介護保険特別会計補正予算(第3号)

・補正額(減額)
△1215万3千円

・予算総額(補正後)
23億8309万7千円

【主な内容】
・居宅介護サービス給付費等

●簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)

・補正額(減額)
△558万2千円

・予算総額(補正後)
9757万3千円

【主な内容】
・施設維持管理修繕工事費等

●農業集落排水処理施設事業特別会計補正予算(第3号)

・補正額(減額)
△495万1千円

・予算総額(補正後)
4億1281万円

【主な内容】
・公共下水道事業計画見直し調査業務委託料等

●病院事業会計補正予算(第3号)

・補正額(減額)
△109万6千円

・予算総額(補正後)
1億1635万6千円

【主な内容】
・処理施設維持管理業務委託料等

●ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第3号)

・補正額(減額)
△280万8千円

・予算総額(補正後)
3102万6千円

【主な内容】
・光ケーブル映像関係設備品等

●下水道事業特別会計補正予算(第3号)

・補正額(減額)
△280万8千円

・予算総額(補正後)
3102万6千円

【主な内容】
・施設維持管理修繕工事費等

●病院事業会計補正予算(第3号)

・補正額(減額)
△280万8千円

・予算総額(補正後)
3102万6千円

【主な内容】
・収益的収入
・病院医業費用等2490万2千円を減額し、28億9790万7千円

●企業債

・資本的収入
・企業債1710万円、補助金4千万円を減額し、4億3931万2千円

・資本的支出
・建設改良費1342万3千円を減額し、6億8325万3千円

審議の結果
全員賛成で可決

平成30年度予算 10件

●一般会計予算

●後期高齢者医療特別会計予算

●国民健康保険特別会計予算

●介護保険特別会計予算

●下水道事業特別会計予算

●農業集落排水処理施設事業特別会計予算

●簡易水道事業特別会計予算

●住宅用地造成事業等特別会計予算

●ケーブルテレビ事業特別会計予算

●病院事業会計予算

●審議の結果
全員賛成で可決

*審議内容は別ページ

●陳情 1件

●地域別最低賃金の引きあげと全国一律最低賃金制の実現、中小企業支援の拡充を求める陳情

・総務常任委員会へ付託

常任委員会の審査結果
継続審査

町長提出案件追加

●人事 1件

●人権擁護委員の推薦

◎佐々木 ノリ子 氏 (69歳)



五戸町大字上市川

字家ノ後

主な職歴

五戸町社会福祉協議会

●審議の結果
全員賛成で同意

委員の改選

当町議会では、議会運営委員会と4つの常任委員会が設置されており、各委員会の任期は2年で、今回、任期満了により委員の所属が変更となった。また、議長の諮問機関として議会改革検討委員会と五戸総合病院検討委員会を設置している。今回の委員任期満了は平成32年2月28日までとなる。

総務常任委員会 6人

総務、税務、教育及び選挙に関する事務並びに他の常任委員会の所管に属さない事務を所管する。

- 委員長 三浦 專治郎
- 副委員長 沢田 良一
- 委員 大沢 義之
- 委員 若宮 佳一
- 委員 尾形 裕之
- 委員 柏田 雅俊

民生常任委員会 6人

社会福祉、消防、上下水道、総合病院、国民健康保険、高齢者医療及び介護保険に関する事務を所管する。

- 委員長 川村 浩昭
- 副委員長 鈴木 隆也
- 委員 大久保 和夫
- 委員 和田 寛司
- 委員 大沢 博
- 委員 古田 陸夫

議会改革検討委員会 7人

町議会の活性化、情報公開、政策提言の推進などについて、調査・研究・協議を行っている。

- 委員長 高山 浩司
- 副委員長 沢田 良一
- 委員 鈴木 隆也
- 委員 大沢 義之
- 委員 若宮 佳一
- 委員 尾形 裕之
- 委員 松山 泰治

議会運営委員会 6人

議会の会期や議会運営、議長の諮問事項などについて協議を行っている。

- 委員長 若宮 佳一
- 副委員長 大沢 義之
- 委員 豊田 孝夫
- 委員 山田 泰治
- 委員 村浩 昭
- 委員 三浦 專治郎

経済常任委員会 6人

産業経済、土木建設に関する事務を所管する。

- 委員長 松山 泰治
- 副委員長 川崎 七洋
- 委員 豊田 孝夫
- 委員 高山 浩司
- 委員 三浦 俊哉
- 委員 欠員

広報常任委員会 7人

議会の広報紙に関すること。

- 委員長 豊田 孝夫
- 副委員長 川崎 七洋
- 委員 鈴木 隆也
- 委員 大久保 和夫
- 委員 高山 浩司
- 委員 若宮 佳一
- 委員 尾形 裕之

五戸総合病院検討委員会 9人

五戸総合病院の経営の改善や町民のための病院の実現に向けて検討を行っている。

- 委員長 古田 陸夫
- 副委員長 川村 浩昭
- 委員 川崎 七洋
- 委員 鈴木 隆也
- 委員 高山 浩司
- 委員 和田 寛司
- 委員 松山 泰治
- 委員 沢田 良一
- 委員 三浦 專治郎

3月定例会では4人の議員が一般質問を行いました。一般質問は、一般行政、教育、選挙、農地行政など町が行う行財政全般について質問できます。



川村 浩昭 議員
かわむら ひろあき

◆高齢者の入浴料の均等化は

町長 入浴料と施設の管理運営方法も検討したい

答 大久保副町長

今一番問題なのは、設備が古く過大な投資が必要になること。入浴料も含め早急に結論を出したい。

答 服部福祉保健課長

今まで交渉したことはない。



倉石温泉

めの改修費用は多額であり新設の事業で進めている。

答 三浦町長

まちの駅整備促進事業で住民から意見を聞くと、各関係団体から委員の推薦をうけ五戸町地方創生まちづくり推進協議会の場や町民からの公募、各関係機関から意見を聞き事業を進めている。

質問②

建設にあたり地域住民の意見を聞いているのか。

質問①

町内地区によって倉石温泉・社会福祉センター浴場の65歳以上入浴料の違いを早急に検討すると、前回回答いただいたが進捗状況は。

質問②

町内1軒しか無かった銭湯も閉じてしまい町民が非常に困っている。その対策は。

答 三浦町長

現在、町としてその対策は特に行っていないが町内の温泉施設を利用していただければと思う。

質問③

銭湯の経営者に対して補助など対策をして欲しいと要望したが交渉したのか。

質問①

◆「まちの駅」新設にかかる財政的政策は
町長 コスト縮減を図る

当町の人口減少、少子高齢化が進む中、新設2億5千万円程度の費用は財政的に政策を考えているのか。本来「まちの駅」はそんなに面積を必要としないと思うが、木村秀政ホールなど既存の施設を利用するなど考えはないか。

答 三浦町長

「まちの駅」においては、建設場所を調査検討し図書館南側芝生に決定した。なお実施設計にあたってはコスト縮減を図り極力財政負担の軽減を図りたい。秀政ホールは「まちの駅」構想の中にある子育てサポート事業を行うには狭く、そのた

◆県道橋向五戸線バイパス進捗状況は

町長 早期に工事が完了するように県に協力していきたい

質問

下新井田、兔内、石仏を通る道路が非常に危険なためバイパスを通す計画があったがその進捗状況は。また雪解けで目立ってきた道路の破損個所の対策は。

答 三浦町長

県では平成25年から概略設計など事業を進め、平成30年度は測量・詳細設計等実施予定。道路の破損個所においては今後、道路パトロールの強化、各関係機関等から情報提供いただき道路管理に努めていきたい。

一般質問

また、八戸圏域連携中
枢都市圏事業では、医療
や福祉の充実、観光や農
商工業などの振興を図る
ために様々な事業を圏域
全体で展開する。

普通交付税は前年度に
比べ4500万円減とな
る見込みで厳しい財政状
況下であるが、進む少子
高齢化に対応するため、
移住・定住促進対策、産
業・雇用対策、地域づく
りなど多方面にわたる事
業を実施する。

答二浦町長

質問①
政策の重点事項は。



鈴木 隆也 議員

◆平成30年度予算編成の基本方針は

町長 少子高齢化への総合的な
取り組みと魅力ある地域
づくりの施策を展開する

質問②

予算規模などの予算の
骨格は。

答二浦町長

普通会計の予算規模は
歳入歳出90億5061万
1千円と前年度と比較し
6億1074万7千円の
減、対前年比マイナス
6.3%。

予算規模が縮小した要
因は、旧豊間内小の展示
施設やひばり野住宅団地
の工事などが終了し、建
設事業などの投資的経費
が減少したから。

質問③

継続して行われる主な
事業の予算と進捗状況は。

建設課関係では橋梁補
修測量調査設計業務委託
料4593万円など。

県営五戸東地区中山間
地域総合整備事業は測量
設計業務町負担金として
1650万円。

まちの駅整備促進事業は
実施設計業務委託料13
00万円。子育てアパ
ルト等入居費助成事業11
84万円。プレミアム商
品券発行事業1003万
円など。

地方創生事業は4年目
となり、ふるさと納税促
進及び地域産品PR事業
合わせて4052万円。

倉石保育園移転建替え
に対する交付金1億81
2万円。

特定不妊治療費助成金
100万円。

学校教育系施設長寿命
化計画策定業務委託74
9万円など。

答二浦町長

五戸消防署の移転新築
事業は6月末に完了する
予定。この建設費負担金
が5億2875万円。

平成30年度の主な新事
業は。

答二浦町長

集会施設の修繕などに
充てる自治会施設整備費
補助金500万円。

馬肉・倉石牛・シヤモ
ロックを活用した地域資
源活用商品開発発事業補助
金250万円。

倉石保育園移転建替え
に対する交付金1億81
2万円。

特定不妊治療費助成金
100万円。

学校教育系施設長寿命
化計画策定業務委託74
9万円など。



特定不妊治療費助成金予算化

◆消防団の統廃合を検討すべき

では
町長 消防団と自治会と行政の
共通課題ととらえ、協議
する場を設ける

質問①

2月18日に石巻地区で
発生した火災で防災無線
のサイレンが鳴らなかつ
たのはなぜか。

しているとは言えない状
況。今後は予算をできる
だけ増やし、設置を進め
ていきたい。

答二浦町長

バッテリーの経年劣化
による電源不足が主原
因。交換工事を急いでい
るが特別発注品のため完
了時期は3月末となる見
込み。

質問③

消防団員を十分に確保
できない地域がはじめて
いる。消防団の統廃合を
検討するべきでは。

答二浦町長

消防団が果たしている
役割は消火活動に限らず、
自治会の運営にも密接に
関わっているので行政側
から積極的に声掛けしな
かった。しかし、消防団
の存続は地域にとって深
刻な問題なので、今後は、
消防団と自治会と行政の
共通課題ととらえ、協議
する場を設けていきたい。

質問②

消火栓や防火水槽の設
置は十分に行われている
か。

答二浦町長

毎年度1カ所ずつ予算
化し、計画的に設置して
いるが、町全域をカバー



豊田 孝夫 議員

◆農業におけるGAP認証の推進の方策は

町長 国、県の補助制度のない品目については考える余地あり

質問② GAP推進について、県と国の対策は。

質問③ 当町においての、GAP認証に向けての取り組みは、また支援策は。

答二浦町長

農業者がGAP(農業生産工程管理)に取り組む際、種類と認証組織は、また、費用と期間は。

質問①

答二浦町長

国際的にはグローバルギャップでドイツのフードプラス。日本ではアジアギャップ、ジェイギャップで日本ギャップ協会。費用は、国際版で40万円から1年更新。日本版のジェイギャップで6万8千円、アジアギャップは18万円で2年更新。どちらも更新時に費用が発生する。

◆中山間地に存する遊休農地の活用について

町長 八戸圏域連携中枢都市圏で取り組む

質問①

中山間地の遊休農地は畑、田んぼ、耕す予定がなく再生困難な農地、それぞれの面積は。更に困難地を非農地としての活用は可能か。

答三浦町長

検討したことはない。少ない自治会は道路整備や防犯灯の維持管理など運営上大変だと思う。また、隣接の大きい所と連携して、班として活動するか同規模の所と合併するかが考えられるが、いずれにしても双方の意見集約が必要と考える。

答二浦町長

遊休農地は26ha、内、中山間地は22haで全て畑地である。再生困難な農地は非農地として、山林原野となると他の用途に転用可能である。

質問②

漆生産は八戸圏域連携中枢都市圏で取り組むが、当町での面積確保と植栽地の適地として予定している地域はあるか。

答三浦町長

漆の植栽については、現在調査中である。

答畑山農林課長

漆は30年度に調査を終え、31年度に計画に基づいて植栽を行う。

◆人口減と高齢化に伴う自治会運営の施策は

町長 各自治会の自主性に任せる

質問①

自治会に未加入世帯の数は。また、加入勧奨は行っているか。

答三浦町長

住民基本台帳7041世帯に対し、自治会加入世帯6114世帯で92

答佐々木総務課長

合併、統合などの要請がこれまでに寄せられたことはなかった。

答竹洞農委事務局長

田んぼの遊休農地は現在調査中である。また、再生困難な農地は地区別では主なところ大字で切谷内23ha、豊間内19ha、浅水2.2ha、手倉橋2.0ha、倉石又重3.0haとなっている。



漆掻き作業

一般質問



わかみや けいいち 議員
若宮 佳一

◆五戸高 無念

私立に通わなくてはなら

ない子どもの家族の学費の負担などという問題にはふれられていない。

②のオール青森の視点での取り組みに関しては、

県教育委員会としての視点であり、県の他の部局の意見は見えてこない。

高校の地元への貢献度、地域振興に果たす役割を考慮すべきであり、オール青森の視点ではないと考える。③の県民の理解と協力の下での策定では、地域懇談会等を開き住民から多くの質問や意見が出されたが、ただ意見を聞くだけで明確な回答もなく結果的に修正されることは無かった。他の地域でも同じだと認識している。五戸町では設置主体の変更が可能かどうか調査する時間を1年間もたっただけで、県立高校としての廃校がすでに決まっている。

県は計画策定の考え方として、①充実した教育環境の整備と各地域の実情への配慮②オール青森での視点での取り組み③県民の理解と協力の下の策定という三つの要点のもとで策定したという事になっているが、①の地域の実情への配慮はまったく感じられなく、生徒の通学時間の負担や

質問②

町立や組合立、私立でも継続させたいという昨年7月6日の新聞報道は評価できる。その後の取り組みを伺う。

答三浦町長

昨年9月に調査専任職員を2名配置し、文部科学省、県関係部局、学校法人との協議や高校を運営する自治体の視察を行い、学校施設の受渡しの条件や設置者変更に関わる事務手続きのスケジュール、運営経費の試算方法、教員の任用配置、入学試験方法等のあらゆる角度から調査してきた。また、副町長を幹事長とする五戸高等学校対策幹事会を組織し、これまで計8回開催し、その都度専任職員から報告を受け検討を進めてきた。

町長自らの視察先は平成29年度に町立から私立に移管した福岡県的那珂

川町、組合立で普通科を運営している福岡県古賀市、五戸高校と同等規模の1学年2クラスの普通科を運営している北海道の知内町の3箇所を視察し、各市長、町長から自治体で運営するに至った経緯や、財政負担に対する考え方について調査してきた。私立化の検討については、町としてどんな支援があれば私立化が可能か把握するために、多角的な運営が期待できる県内の2学校法人と協議をした。いずれの法人からも急速な人口減少の状況下において相当に厳しいという理由で困難という回答を受けた。

人口減少にともなう普通

通交付税の減少をふま

え、高校運営がはたして可能かどうか平成44年度までの財政収支見通しの試算を行い検討をしてきた。町の老朽化した施設

の改修や設備の更新も多く大変厳しい状況である。最終的には熟考に熟

考を重ね判断する。

質問③

県の教育委員会は設置主体変更にも協力できるのか現在の状況を伺う。

答三浦町長

平成29年9月5日県教育委員会と私立の担当部局である総務部学事課に、設置主体変更に必要な情報提供の協力を要請した。県からは対応が可能な限りの協力をすると

の回答を得る。その後、9月の県議会定例会での質問に対し、県教育長は、施設設備や教職員配置など設置主体の検討に必要な情報を共有しながら協力していくとの答弁をしている。現在も変わらな

い状況であると認識している。しかし施設の大規模改修等に関わる支援については、県や国の支援制度がまったく無い状況であり、仮に町立として運営した場合にどのような協力が得られるかにつ

いて、過去に事例が無く明確な協力体制について現段階では明言できる状況では無い。

質問④

「教育のまち五戸」に高等学校が無くなることについて感じる事を伺う。

答三浦町長

すべての道がたれた場合、五戸高校関係者の落胆は想像にかたく、寂しさを感じる。今年90周年を迎える古い歴史と伝統を誇る学校であり、卒業生は1万人を超え各分野はもちろん地元産業界に優秀な人材を輩出してきた。特にサッカー部は

全国大会に数多く出場し、一時代を築いてくれた。地元への貢献度も高く評価され、地域に根ざした素晴らしい学校だと思

う。教育のまちという五戸町の立場から仮に高等学校が無くなるとすれば、無念である。

無念である。

第21回連携中枢都市圏の形成に関する勉強会

平成30年2月9日、五戸町(五戸町立公民館)において八戸連携中枢都市圏形成議員促進連盟主催による勉強会が開催され議員16名が参加しました。

講演 「連携中枢都市圏の最新の動向について」

講師 総務省自治行政局市町村課 課長補佐 甘利 英治 氏

*この勉強会は八戸圏域8市町村の振興・発展に資するため、平成21年度より各市町村持ち回りで開催。



五戸地区議会議員協議会創立40周年記念祝賀会

平成30年2月19日、アピル五戸において五戸地区議会議員協議会創立40周年記念祝賀会が開催され五戸町・新郷村現職議員及び元議員の参加者があり記念すべき節目を祝いました。

昭和52年に1町2村(現在1町1村)で発足以来、元議員の皆様のご尽力に感謝するとともに今後の五戸地区の更なる発展を願いながら昔話に花を咲かせました。



編集後記

平成30年度になりました。来年の今頃は新元号に移行準備で大忙しの最中なのかなと思われまふ。

議会だよりの編集に携わる広報常任委員会も3月の議会定例会期間中に新メンバーになりました。

心機一転新鮮な思いで編集に取り組んでいます。見やすく、読みやすく、読者の満足度が向上するようにと、紙面構成に工夫を凝らしていきたいと思ひます。

この議会だよりがお手元に届くころは大型連休で旅行や、お花見など何かと外出する機会も増えると思ひますので交通事故などに遭わない、遭わせないと安全運転をお願いします。

農作業真っ盛りの時期です。5月中旬頃から田植えも始まり、緑なす田園風景が広がっていくことでしょう。豊作を願っています。

委員長 豊田 孝夫

議会を傍聴してみませんか

6月定例会は6月7日開会予定です。詳しくは議会事務局まで

TEL 62-2111 (代表)

日程が決まり次第「五戸ちゃんねる」五戸町ホームページでもお知らせします。

次回の議会だよりは、平成30年7月発行予定です。

広報常任委員会

委員長	豊田 孝夫
副委員長	川崎 七洋
委員	鈴木 隆也
委員	大久保 和夫
委員	高山 浩司
委員	若宮 佳一
委員	尾形 裕之
発行責任者	長和田 寛司
平成30年4月27日発行	